F2-40

古民家カフェと地域住民の繋がりに関する基礎的研究
－カフェに関する書籍および雑誌記事を対象として－
A Basic Study on the Connection between the Old Folk House Cafe and Local Residents
A Case Study on Articles about Cafes Extracted from Books and Magazines

○池田はる[1]，　天野光一[2]，　西山孝樹[2]
Ikeda haru[1], Koichi Amano[2], Takaki Nishiyama[2]

In this study, I intended for the book about the old folk house cafe and a magazine article. I extracted an old folk house cafe and the description about the connection of local inhabitants from those articles and performed a classification, rearranging.

１．はじめに

わが国では，第 4 次コーヒーブームと共にカフェがサードプレイスとして日常生活に定着し始めてきた．

そこで本稿では，カフェという居場所は人々にとって，どのような機能を持ち得るのかに着目した．

２．研究方法

カフェと地域住民の関わりについて，カフェに関する書籍および雑誌記事 [1]~ [6]から，様々なエピソードを抽出して，分類整理を行った．なお，本稿では古民家カフェを対象した．古民家カフェとは，築 50 年以上の家屋（文化庁の登録有形文化財の規定より）を転用・再生したカフェと定義した．

３．研究結果

（１）古民家カフェと地域住民との繋がり

古民家カフェの特徴は，書籍から 37 件のエピソードが抽出でき，**Table.1** の様に分類整理を行った．

ａ）思い出・思い入れ（10 件）

地域の歴史や古民家自体に思い出等があるお客さんを通してオーナーが学ぶケースも多い．昔からの常連客が多い古民家カフェでは，オーナーだけでなく地元住民も一緒になって地域の良さを伝えていくコミュニケーションが生まれていることも特徴であった．

また，台東区谷中の「HAGI CAFÉ」や港区赤坂の「TOKYO LITTLE HOUE」などの民宿を併設しているカフェでは，外国人観光客を含め，初めて来たお客さんに，その古民家カフェに愛着を持った別のお客さんが歴史・文化を伝える取り組みも行っていた．

ｂ）地域参加・提案（10 件）

古民家オーナーと地域住民が繋がることによって，子供たちを預ける場所という意識も読み取れた．

例えば，大田区池上の「連月」では，「自習割」と称し，地元学生にドリンクを半額で提供，勉強する場を提供していた．青梅市新町の「MUKU CAFÉ」では古材を活用した授乳室や子供たちの遊び場も設けていた．

地域住民が自らカフェの開業や運営に参加するケースも多く，地域一丸となって古民家を保全していた．

ｃ）愛着心（14 件）

古民家は国籍を問わず，老若男女からも愛着を持たれていた．自分の思い出の場所や第二の実家のような安心感を抱いている人が非常に多かった．

ｄ）コミュニケーション（24 件）

本稿で分類したなかで，圧倒的に数が多い項目であった．お客さんからのアプローチに限らず，カフェオーナー自身が地域コミュニティへ参加している事例もあった．例えば，墨田区文花「長屋茶房　天真庵」では地域住民からの要望で毎年，味噌づくりの会を開き，今では 100 名を超える参加者となっていた．

ｅ）サードプレイス利用（9 件）

古民家カフェは，子育ての場や趣味を共有する場など様々な用途に使われている．昭和歌手の市丸の屋敷を改装した台東区柳橋「ルーサイトギャラリー」では，カフェの他にも週替わりの展示会や茶道・漆・生花の教室も開いていた．稽古に来た着物姿のお客さんと歴史ある古民家の中でコミュニケーションが生まれる．

ｆ）オーナーのこだわり（6 件）

近年，デザイン性のある洒落たカフェが急速に増えている一方で，昔の文化に新鮮さを感じる人が増え，純喫茶や古民家カフェなどのブームも再来している．

古民家カフェのオーナーは建物自体の歴史を残しながら，いかに現代人に受け入れられる内装や提供物にするか，こだわりを強く持っている．地域や建物の歴史を伝えるだけでは資料館と同じ形態になるため，人々を引き付ける魅力的な付加価値に工夫を凝らす．

例えば，提供物に関しては，古民家ならではの，あんみつや抹茶などを提供するところもあれば，最新のコーヒー豆や西洋菓子を提供するところもある．

１：日大理工・学部・まち，２：日大理工・教員・まち

ｇ）時代背景（6 件）

古民家という場を生かし，その地域の歴史や時代背景をオーナーがお客さんへ伝えるカフェが多くみられた．東京にある古民家の多くは，現代の街並みからみれば異空間だが，その建物には歴史があり，その思い出を語り継ぐオーナーがいた．港区赤坂の「TOKYO LITTLE HOUE」は，現オーナーの祖父母の自宅を改修したカフェで，店内には戦後の写真などが多く飾られ，祖母の思い出と共に江戸の歴史を学ぶことができる．

ｈ）出会いの場の意識（2 件）

古民家カフェのオーナーは，その地域の拠点として人々が集まり，コミュニケーションが生まれる場であってほしいと 2 件ではあったが示されていた．

例えば，台東区谷中の「HAGI CAFÉ」のオーナーは，カフェ単体でのコミュニティ形成ではなく，昔から地域住民が慣れ親しんできた街と住宅全体をコミュニティの場として捉え，共存共栄の意識を強く持っていた．

４．まとめ

本研究では，古民家カフェと地域住民の関係性を分析した．カフェの利用者とオーナーがコミュニケーションを図ることで，そのカフェに対する愛着心や思い出・思い入れが強まっていた．このコミュニケーションが古民家カフェという地域に根差した場所で行われているからこそ，人々にとって特別な「第 3 の自分の居場所」に成り得ることが明らかになった．

参考文献

[1] 川口葉子 :『東京カフェ散歩』，祥伝社，303p，2012.
[2] 川口葉子 :『カフェノナマエ』，キノブックス，256p，2018.
[3] 川口葉子 :『時間を旅する 40 軒 東京 古民家カフェ日和』，世界文化社，144p，2019.
[4] 高井尚之 :『カフェと日本人』，講談社，224p，2014.
[5] 高井尚之 :『20 年続く人気カフェづくりの本』，プレジデント社，128p，2017.
[6] 山納洋 :『つながるカフェ:コミュニティの〈場〉をつくる方法』，学芸出版社，184p，2016.

Table. 1　書籍ごとに抽出した古民家カフェに関するエピソードの抽出結果（重複を許す）

著書名(37 件)	『東京古民家カフェ日和』(11 件)	『東京カフェ散歩』(11 件)	『カフェノナマエ』(12 件)	『20 年続く人気カフェづくりの本』(3 件)
(a) 思い出・ 思い入れ	・長くその街に住む女性は**倉庫時代の思い出を聞かせてくれた**．(a, c, d, g)	・近くのホテルに宿泊する欧米人もよく訪れ，**来日するたびに立ち寄る英国人夫婦もいる**．(a, c)	・**昔の喫茶店を知る人が 10 年ぶりに来店**してくれた．(a, c) ・オーナーは**銭湯改装の数年前までここの銭湯で番台に立っていた**ので，「服着てる方が恥ずかしい」と銭湯通いの常連客のおばあちゃんに言われる．(a, c, d, g)	
10 件	3 件	3 件	4 件	0 件
(b) 地域 参加・提案	・コツコツ改装していたら街中に話が広まり，**友人やご近所の方々や親戚が手伝ってくれた**．(b, d) ・ご近所さんが**眠っていたピアノを譲ってくれると，常連客の音楽家たちが演奏会を催すようになった**．(b, d, e)	・**立ち話ついでに交換されるアイディアが，愉快なイベントや商品に発展**する．(b, d) ・**最近は「お話会」を催し**，毎回多くのお客さんが来てくれる．(b, d, e)	・**下校中の子供たちと目が合うと手を振ってくる**．目が合わなければ，**声もかけてくれる**．(b, c, d)	・街のマラソン大会では，**無料のコーヒーをランナーに提供している**．(b, d, f)
10 件	3 件	2 件	4 件	2 件
(c) 愛着心	・「**以前，シェアハウスだった時にここで生活**していた」と**ニューヨークから女性が来店**．(a, c)	・**毎日決まった時刻に訪れる 80 代の女性**は，必ず昔ながらのレシピのプリンを召し上がる．(c)	・アルファベットを顔のように配置したロゴマークの焼き印がついたスイーツを前にして，常連客のおばあちゃんは**「いつも見ている顔だから食べるのをためらうのよ」と漏らした**．(c, d)	・オーナーも常連客の女性客から気軽に声を掛けられる．**長年の常連客が多く，中には 40 年以上通い続ける人もいる**．(c, d)
14 件	2 件	6 件	5 件	1 件
(d) コミュニ ケーション	・古民家カフェは，お客さんが我知らず「お邪魔します」と口にする．(d) ・古民家カフェが人気を博してからも，**町内の高齢者の会合にも積極的に参加した**．(b, d, f)	・**お店への愛情を綴った小さな置き手紙**をテーブルに残していくお客さんもいる．(d)	・フィンランド人や長くフィンランドに住んでいた人は，入ってくるなり**「モイ！」と挨拶してくれる**．(店名 : moi) (c, d)	
24 件	6 件	4 件	11 件	3 件
(e) サード プレイス利用	・2 階の和室で「雪景色がここで見たくて」と赤ちゃん連れのお母さんが，**庭が雪で真っ白になったときにわざわざ訪れてくれた**．(e)	・子供連れのご近所さんも周辺のアパレル関連会社の人々も音楽好きも**息抜きの一杯を求めてやってくる**．(c, e)	・曲名からとった店名はカフェを愛する人たちで広まり，**店で本人のライブが実現した**．(b, d, e)	・常連客の現代美術のグループの提案で**カフェ内にギャラリーも設けた**．(b, d, e)
9 件	3 件	4 件	1 件	1 件
(f) オーナー のこだわり	・古民家カフェでも**コーヒー豆は北欧最新の「フグレン」を使用．時代を超えて現在進行形で生きなければ**．(f) ・「古民家を誰も訪れない資料館にして埃をかぶっては面白くない．人がいなければ．(f)		・小説内のバーと気づいた通りすがりの人が踵を返し，「あれですね？」と聞かれ，店内の本棚に紛れ込んだその 1 冊を見つけた人と**会話が始まる**．(d, f)	・街のマラソン大会では，**無料のコーヒーをランナーに提供している**．(b, d, f)
6 件	4 件	0 件	1 件	1 件
(g) 時代背景	・若い人が古民家カフェに訪れると，物珍しげに室内を見渡すけど，私たちにとっては子供の頃から当たり前に身近にあったものばかりで笑える．(a, g)	・常連客のおばあちゃんが**「この建物は空襲時に風向きが変わったおかげで火の手を逃れたと思い出話をしてくれた**．(a, c, g)	・1990 年代は，同業者が近所にないので店名がないまま営業してた．その頃，ハイカラな**常連客が横文字の店名を付けてくれた**．(a, b, d, g)	
6 件	2 件	2 件	2 件	0 件
(h) 出会いの場 の意識	・「**街そのものを大きなホテルに見立て，地域と一体化**し，大浴場は街の銭湯へ，朝食はカフェで」**ゲストがその街の日常を体験**できるようにしている．**ゲストと地元住民が入り混じって朝食を楽しんでいる**．(d, e, f, h)	・**カフェのイベントで知り合って結婚した人は 10 組以上**いる．(d, e, h)		
2 件	1 件	1 件	0 件	0 件